1966年12月27日
第19号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3131
編集　企画調査課

住民登録人口
（昭和41年11月30日現在）
総人口　27,808人
男　13,365人　女　14,443人
世帯数　5,903

一般会計
特別会計

昭和四十年度決算承認
助役に高野幹二氏を選任

十二月定例議会おわる

昭和四十一年度第七回巻町議会第四回定例会議が二十一日（会期四日間）招集され、午前十時から役場議場で開かれました。

提出された議案は新潟県巻町税条例の一部を改正する条例の制定についてほか二十件、諮問四件が上程され原案どおり可決されました。また巻町助役選任について緊急提案され、満場一致で巻町助役に高野幹二氏が決まりました。

定例議会は町長のあいさつが行なわれたあと、一般質問に入りました。町政全般について小林幸雄、工場誘致条例の運用面について有坂四郎、昭和四十二年度予算の編成に当り、新年度の道路行政ならびに農業行政に対する考え方について竹内十次郎の各議員から一般質問がありました。午後から日程にしたがって、議案の審議が行なわれました。

主な議案は次のとおりです。

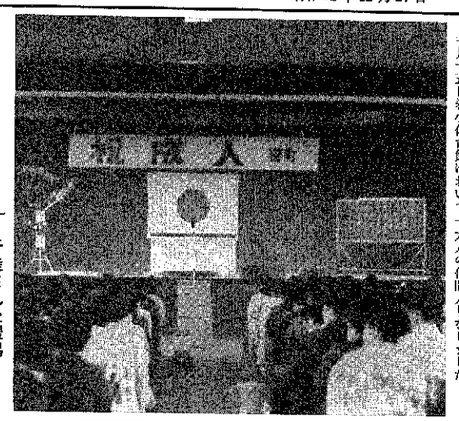
◇◇◇

ゆく年'66町の動き

あわただしい師走もおしせまって，あとわずかで1966年も"蛍の光"のメロディーがかなでられます。本年をふり返って見ますと町にも，悲喜こもごもいろいろな出来ごとがありました。稲島分校の閉校　待望の鎧潟干陸式，河治町長急逝，町長町議補欠選挙，準急「かくだ号」の開通，竹野町バイパスの完成など。これらの町の動きを特集しました。

成人式

一月十五日巻小体育館において成人式が行なわれました。三百七十二人の若人が社会から祝福を受け"責任と自覚"の決意も新たに大人の仲間入りをしました。



干陸された鎧潟

鎧潟周辺農家にとって、待望の鎧潟干拓工事が完了し、六月二日干陸式が興農館高校で盛大に行なわれました。

鎧潟は大通川、悪落川によって潟以南の広域にわたる悪水をあつめていた。そのため洪水におそわれると潟周辺は一夜にして泥沼と化した。農家と水魔との苦闘がくりかえされてきました。

昭和三十三年ようやく国営干拓事業として工事が着手され、以来八カ年の歳月と約十三億円の巨費を投じて干拓工事が行なわれました。三月十七日待望の排水機のスイッチが入られた一瞬、蒲原平野に残った最後の湖水鎧潟が干陸し、長い歴史の幕が閉じられました。

第二保育園完成

入園難でご迷惑をかけていた巻地区に待望の町立巻第二保育園ができました。

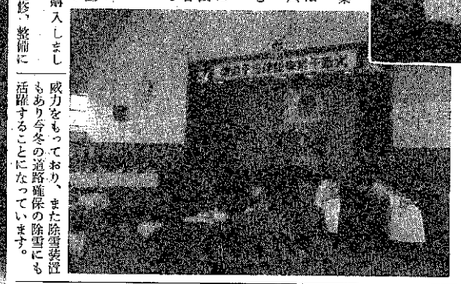
当初昭和四十二年四月開園予定でしたが折角完成した施設を遊ばしておくのはもったいないとのことから、一月からとりあえず幼児（三才以上児）を募集してスタートします。

なお四月からの定員は九十人で内訳は乳児（三才未満児）十八人、幼児（三才以上児）七十二人です。

第二保育園の完成により町内の常設保育園が町立六、私立二で合計八ヵ所になりました。

除雪にも活躍

町勢の発展は道路整備からということでモーターグレーダーを購入しました。この機械は道路の補修、整備に威力をもっており、また除雪装置もあり今冬の道路保守の除雪にも活躍することになっています。



準急「かくだ」開通

七月二十日越後線柏崎―新潟間に沿線住民念願の初の優等列車準急「かくだ」が開通しました。

当日は町、商工会、国鉄関係者巻保育園園児の旗の波、巻中学校ブラスバンドのマーチにむかえられ、すべり込むように静かにプラットホームに入りました。園児代表の古俣綾子ちゃんから処女列車の運転手に花束を贈り開通を祝いました。

列車名の「かくだ」は当町の角田山から採用されており、それだけに愛着が感じられます。なお「かくだ」の巻駅通過時刻は次のとおりです。

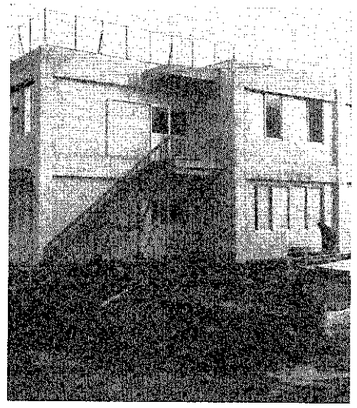
◆上り（柏崎行）巻駅発　十六時三十五分

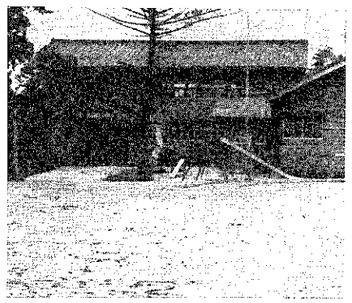
◆下り（新潟行）巻駅発　九時三十六分

好評の人間ドック

巻町国民健康保険病院は成人病対策の一つとして、新病棟を建設して四月一日から"人間ドック"を開始した。

人間ドックを開始してから、利用された方は三十人もおり、潜在する病気の発見、早期治療など大きな効果があがっています。





ドックの内容は肝臓機能、腎臓機能、消化器系、糖尿病、高血圧循環器系、呼吸器系について検査します。

すでに来年ドック入りの申込者が七名もいます。若い人たち、社会活動の主力となって働いている人たちから、どしどし利用していただき健康管理に務めていただきたいと思います。

閉校した稲島分校

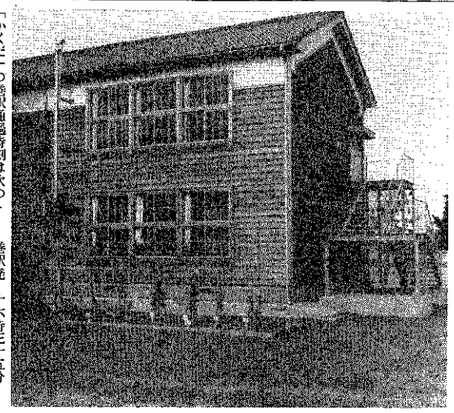
三月三十一日竹野町小学校稲島分校が本校統合によって閉校しました。

稲島分校は、明治七年開校し薦来九十余年児童生徒の教育の場として、あるいは地域の文化活動のための集会場として、大きな役割を果してきました。

竹小二教室増築

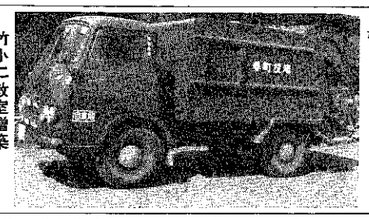
本年九月三日竹野町小学校竣工式。これは本年四月一日、稲島分校の統合により教室数が不足し、普通教室一、理科教室一の計二室が増築されたものです。

増築工事は、本年六月一日から着工され八月十二日に完成したものです。総工事費は三百三十二万円。なお、特別教室は管内小学校では巻小学校について二番目です。理科、家庭科の実習室として使用されています。



ごみ処理に増車

年々激増するごみ。各家庭から出されるごみの総量でその町の文化程度がわかるというほど日常生活に密着している。このごみ処理をスムースにするため、六月に収集車（ロードパッカー二トン車）を購入し各地区から要望されていたごみ、危険物の収集にあたりました。



全町民から惜まれる河治町長の急死

悲しい出来ごとの筆頭は、河治町長が肝硬変のため七月二日亡くなられたことです。

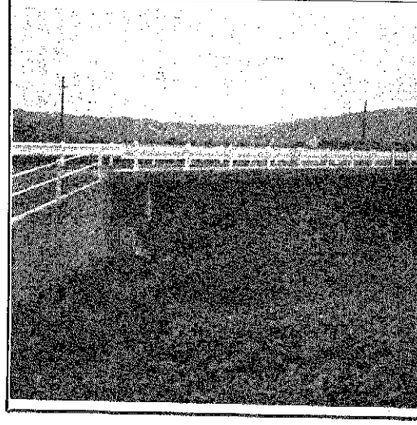
河治町長は新生巻町の初代町長に当選、以来連続三期十一年五カ月にわたって町長を勤め、在任期間中には町財政の再建をはじめ、町立病院の開設、県農業教育センターや工業高校の誘致、新潟県体ホッケー会場の大成功、ゴミ焼却場、新生センター、役場庁舎など多方面にわたって新しい町づくりに活躍されました。

九日午前十時から巻小体育館で故河治町長の町葬がしめやかに行なわれ、一千人が参列して故人の遺徳をしのびました。

町長及び議員補欠選挙

河治町長死去に伴なう町長及び議会議員補欠選挙が八月二十一日行なわれました。一番身近かな選挙だけに町民の関心も高く、投票率は八八・四%を記録しました。

開票結果二代目首長に江端一郎氏町議に佐藤吉之助、有田正悦、小林幸雄の三氏が当選されました。



竹野町区間にバイパス

県道新潟―寺泊線のなかで交通の難所の一つになっていた竹野町区間に部落の東側を走るバイパスが完成しました。このバイパスの延長は千五十八㍍、幅巾七・五㍍。これで毎年海水浴シーズンにはひどい交通の混雑ぶりで運転手泣かせだった道路も解決されました。

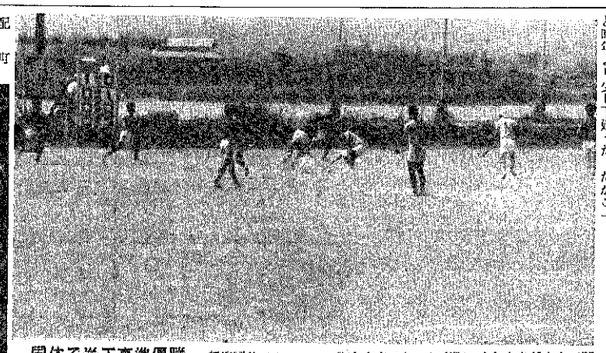
永久橋になった赤さび橋

赤さび橋が永久橋に架替えられました。有効幅員四㍍、延長二十一㍍。工費は三百十万円。この橋は当町と岩室村を結ぶ重要な橋で相当多くの交通量があり、その完成は自動車所有者、通学生などの利用者から喜ばれています。

大いそがしのの救急車

本年6月に消防署へ1台88万円の救急車が配置されました。これは県下に7台配置されたうちの1台です。

6月に救急車が配置されてから今月まで交通事故，急病などに53回出動し，町民のみなさんより感謝されています。



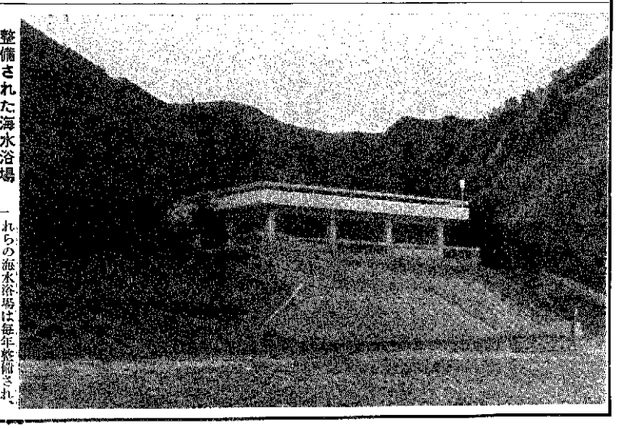
国体で巻工高準優勝

新潟国体でホッケーの町と有名になった当町，今年も各種大会が開かれ熱戦が展開されました。県ホッケー界で特筆されることは巻工高が大分国体で準優勝をなしとげたことです。また来年は7月下旬から8月上旬にかけ当町で全国高校体育大会ホッケー競技が開催され，全国から1千人の高校健児が参加して，母校の名誉と伝統をかけ，競うことになっています。

整備された海水浴場

今年の海水浴シーズンは、天候にあまり恵まれなかったが、それでも新潟、白根、燕方面より青い海原に涼を求めに来た親子連れや若者のグループで角田、浦浜、越前浜の各海水浴場も連日にぎわいました。しかし、今年の人出は三海水浴場を合わせて約四十万人と昨年より少し下廻った。だがこれらの海水浴場は毎年整備され、きれいになっております。

このたび角田、浦浜間の遊歩道路もでき、角田浜には展望休けい舎が完成しました。これらの遊歩道路や展望休けい舎の完成により来年の海水浴シーズンには、本年とは面目を一新した姿でみなさんのいこいの場として満足いただけると思います。



消火栓・防火用水の確保にご協力を

冬になると各家庭では、暖房器具その他火気を使う回数が多くなり、同時にこれらの器具による火災も年々増加しています。

また、冬にはこれらの火災を最小限阻止する消火栓、防火用水等が雪の下になってしまい、十分活用できない状態になってしまいます。この点町では主要道路の除雪計画をたてておりますが、なにぶんに広範囲のことですので、降雪の状況によりましては、各区長を通じて除雪、排雪を依頼することになりますので、次の点とあわせてご協力ください。

一、道路の除雪について

自動車の通れる道路は必ず消防自動車が通れるよう除雪してください。

二、道路上の物件（自動車、植木等）の放置について

道路上に物件が放置してあるとブルトーザー等で除雪することができませんので、絶対に置かないようにしてください。

三、屋根の雪おろしについて

おろした雪は必ず各自で始末するようお願いします。

四、用水路、防火水槽等消防施設の確保について

防火用水を常に確保するため、消防署で指示するほかは、用水路に絶対に雪を入れないようお願いします。

五、火の用心について

○雪がありますと、消防活動がどうしてもにぶりますので、火事は絶対に出さないよう火の用心をお願いします。

○冬囲い等をする際は避難口を必ず作ってください。

○外出の前、寝る前にはもう一度火の始末を確かめるようにいたしましょう。

○タバコの投げ捨てはやめて、必ず灰皿へ、火は完全にもみ消してから捨てましょう。

○子どもの火遊びはやめさせよう。

○コタツの火の強すぎ、コタツに入ったまま眠るのは危険です。

○石油コンロや電機器具は十分注意して正しく使いましょう。

年末、年始の火災予防について

年末から年始にかけて人心は落ち着かず、かつ火気を使用する場合が多くなることから火災が多発する傾向となり、加えて強風、降雪などにより消火活動が困難となる時期です。

巻町では過去五年間の年末から年始にかけての火災が十四件発生しております。原因別に見ますとコタツ四件、カマド二件、石油コンロ二件、タバコ、電気器具、ガスコンロ、いろり、子供の火遊び営業用炉の各一件が記録され損害額四四三万八千円となっています。

次のことに十分留意して火災の絶無を期するためご協力願います。

◎年末年始は平常時より繁忙となりますのでとかく火気の取扱いも粗雑になりがちです。また長時間使用することとなりますので火気使用器具については点検整備してください。

◎二年まいり、年始あいさつなどで家を留守にする場合には火の元の点検、火の後始末に注意してください。

近代的な農業経営を勉強

十二月二十日から十二月二十三日までの四日間松野尾公民館において、自営者冬期学校が開かれました。これは自立経営農家の育成助長をはかるため、農業経営者を対象として近代的な農家、安定した農業経営をはかるために必要な農業知識、技術についてそれぞれ系統的に研修していただくために開かれたものです。当日五十五名の受講者が出席し、みんな熱心に講義を聞いていました。

日赤社員に全世帯加入を

日赤業務については、例年多大なご協力を賜りありがとうございます。

本年度巻町の日赤社費目標額は四十七万五千円です。目標額に達するにはあと四十四%ですので、皆様のご協力により全世帯（保護世帯を除く）加入をお願いいたします。

これら皆様方の納入される社費によって町内各季節保育児童の健康診断、老人クラブ血圧測定、献血事業、血液型判定、海岸救護所開設等多くの事業を実施しております。

また、県内においては七・一七水害等大きな災害に対し、赤十字社としての救援活動には皆様ご承知のように目ざましいものがあります。これらいずれも皆様のご協力による社費によって運営されています。

このような災害時には予想以上の出費が必要であり、また今後の計画事業遂行のためには未加入世帯の加入と既社員の社費納入を区長さんを通じてお願いしてありますので、何分のご協力をお願いいたします。

なお、不慮の災害時には赤十字巻分区へ至急連絡くだされば、救援物資が交付されます。

第二十八回～三十回 戦没者叙勲

第二十八回から第三十回までの叙勲発令による巻町出身戦没者に対する勲章、勲記の伝達式が、十二月二十日役場議場において行なわれました。

なお、今回叙勲を受けられた方は次のとおりです。

◎陸軍

〔旭日章勲七等〕

小林兵松（角田浜、二四郎）畠山東助（松野尾、寅次郎）間宮久策（並岡、ヒメ）内藤義明（九区、久三）田中鶴司（十三区、義徳）樋口哲也（十区、カネ）相馬九三郎（馬場、貞）佐久間武治（一区サイ）

〔旭日章勲八等〕

佐藤佐一（八区、キト）小池秀男（二区、熊雄）山田清松（篠山、七司）土田藤吉（並岡、与平）伊藤五一（馬場、カツ）樋口寅治（柿島、イシ）小島喜八郎（福井、シカ）山川重喜（越前浜、ワウ）金子金目（越前浜、カズ子）岡崎久作（稲島、久四郎）松本栄市（松郷屋、イキ）白崎松一（稲島、ハツ）小沢好栄（赤さび、法全）大橋忠右エ門（仁箇四郎（竹野町、敬太郎）金子治郎（福井、ミヨ）笹沢末作（越前浜政八）寺沢繁雄（鷲ノ木、新作）石川哲雄（河井、キミ）大原佐市（十区、佐六）岩崎寅之助（松野尾、五郎）本間義雄（福井、政吉）藤田勝吾（峰岡、フジノ）佐久間初夫（四区、初太郎）山田七一郎（三区、イカ）鎌城七郎（仁箇耕）本間一朗（稲島、ミエ）中条寅次（東六区、鶴市）清水誠（越前浜、諦）成瀬峰三（篠山、カス）八尾坂春男（松野尾、ヨシ）

◎海軍

〔旭日章勲七等〕

山本代次郎（松野尾、喜与四）川村吾一（峰岡、トヨ）岩崎熊市（松野尾、タキ）

〔旭日章勲八等〕

本間米蔵（松山新田、岩次）長谷川敏男（並岡、ミツエ）寺沢正平（鷲ノ木、ハル）小川実（角田浜豊松）山崎勇（七区、栄作）横山正一（七区、五三郎）柳沢吉雄（松山新田、リト）渡辺太三郎（桜林、メイ）林吉次郎（十区、ツル）

巻ライオンズクラブ一万八千円寄附

巻ライオンズクラブ（会長斎藤順作）では、歳末たすけあいとして一万八千円を寄附されました。町では、この一万八千円を町内に在住する重症心身障害児六名の方にそれぞれ三千円ずつお届けしました。

新有権者の感想文募集

新たに成人となる青年男女に対する啓発活動の一環として、次の要領で感想文を募集いたしますのでふるってご応募ください。

一、感想文の内容と標題

民主政治とくに選挙に対する新有権者としての自覚を内容とするもの。

二、枚数

二百字詰原稿用紙十枚以内また

ころは「海上火災」または「火災海上」の看板を掲げている損害保険会社およびその代理店です。保険料は二千五百四十円です。強制保険に入ります、保険証明書とステッカーが渡されます。保険証明書は、バイクを運転するとき必ず携行し、ステッカーはバイクの所定の場所に貼付しなければなりません。したがって証明書を携行していなかったり、あるいはステッカーを貼っていなかったりした場合は処罰されます。

この強制保険に入っていれば、万一事故を起したとき被害者に対して支払った損害賠償金のうち、死亡なら百五十万円、傷害なら五十万円までは保険会社から保険金として支払ってもらえます。

また、今度の法律改正で、農業協同組合の行なう責任共済の制度が設けられました。農協組合員の方は、軽自動車とバイクに限り、この責任共済に加入すれば強制保険に加入しなくともよいことになっています。責任共済の内容は責任保険の場合と全く同じです。

強制保険には至急手続きを

自動車損害賠償法の一部が改正になり、本年十月一日から、一般にバイクと呼ばれている原動機付自転車も強制保険に入らなければならないことは、もう皆様方はご存知だと思います。

また、未加入の方は至急手続きをとってください。強制保険に入っていないバイクは使用できません。この強制保険を扱っているとは、四百字詰原稿用紙五枚以内。

三、応募資格

昭和二十一年一月一日から昭和二十二年十二月三十一日までの間に生まれた者。

四、締切期日

昭和四十二年一月三十一日（当日消印のあるものは有効）

五、提出先

東京中央郵便局区内

自治省選挙局管理課あて

なお、応募上の注意および その他詳しいことについては役場管理課までお問い合せください。

道路敷利用の際は必ず許可を

近年市街地内においては、土地の入手が困難のことから郊外の国県道脇への進出がめだっています。しかも今迄は大半の方々が無届けで道路敷を利用し、新潟土木事務所と問題を起こし、なかには工事を中止された事例も少なくありません。今後国、県道脇で道路敷を埋立または建物等を新築される場合は、必ず事前に新潟土木事務所へ連絡してください。

道路に関する「工事執行許可申請書」を提出し、申請許可を受けてから工事に着手してください。

なお、詳しいことについては新潟土木事務所、もしくは役場建設課にご連絡ください。

くらしのメモ

いよいよ昭和四十二年新春。ひつじ年の開幕です。またこの年は明治百年にもあたり、いろいろな行事が予定されています。健康に富み、悔いのない充実した一年間をおくりたいものです。

一　日　元旦。初詣。
二　日　初荷。初夢。
四　日　官庁御用始め。
六　日　小発。
七　日　七草かゆ。
九　日　各学校第三学期始業
十一　日　鏡開き。
十五　日　成人の日。（巻町成人式巻小体育館）
十六　日　やぶいり。
二十一　日　大発。

◈お正月の食生活

正月料理といえば、おもちを主食に、魚、肉、卵などが中心になります。さといも、豆類、大根、にんじん、はす、こまつな、ほうれん草などもそえられますが、どうも前者におされがちになります。おもちはご飯より食べすぎる傾向がありますしお休みで運動不足という悪条件も重なって、お正月は胃腸にとって悪性の季節です。

お正月は、何よりも食事のバランスをととのえることが必要で、できるだけ生野菜とか、みかん、りんごなどのくだ物をせいぜい食べるように心がけたいものです。

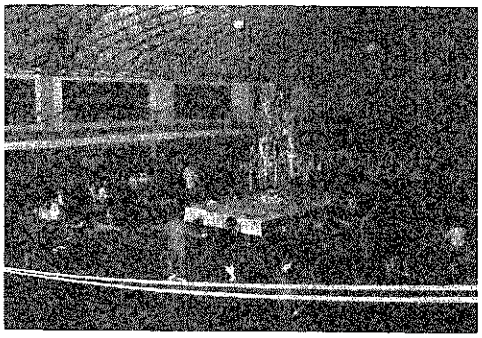
◈シクラメンの取り扱い

冬の鉢物としてシクラメンはどこの家庭でもなじみになりました。ながく眺められるといっても上手な取り扱いをしないと駄目にしてしまいます。

寒さには強いほうですが、涼らしてはいけません。日光には十分あてたほうがよく、冷たい外の風にあたり、ストーブのそばなどは感心しません。

大事なことは水やりで、二～三日に一回はたっぷりやります。ただし葉の上からかけないことです。終わった花、黄ばんだ葉はつみとりましょう。

青年団健全ムードで クリスマスの集い



九月再発足して以来、意欲的な活動を続けている町連合青年団は十二月十八日午後五時から巻小体育館でクリスマスの集い、ダンスパーティを開きました。

このパーティは文化部行事の一環として行なわれたもの。団員百四十人が参加し健全ムードの中でフォークダンス、社交ダンスを楽しみました。会場では団員相互の親睦、なごやかな交歓風景があちこちで見受けられました。なおパーティで得た収益を歳末たすけあい運動に寄附して大変喜ばれています。

健康のちえ

つめは健康の通信簿

「爪きさ」とか「つめの垢を出せんじてのませるといいよ」などと、つめはどうも粗末に扱われがちです。

無用の長物のように思われているつめにもふしぎな秘密があります。それは人間の体がとくとく生れ変わり、死に変わって毎日変化しているその新陳代謝が、そっくり記録されていることです。きれいに弓なりになった、なめらかで光沢のある桜貝のつめなら健康。

スジや斑点があったり、つやが消えたり薄くなったり、すべてつめの異常は あなたの体力の異常を警告しているわけです。

短歌・十二月隊草

○長旅の疲れ合ひし汽車降り立ちて朝の涼をゆらゆらと放つ　河治　冬樹

○菅ってわが住みし屋敷のまへ通るバイパス見れば時の流れさ　上原　常一

○冬近み出揚の街の橋したに来とぐ女行きずりに見し　渡辺　常市

○風邪ひきて創意なき身の幾日も籠れば更に夕鵙うとましし　竹野　福一

○悪く桔梗散り果てし山毛欅林の日脚暮れば寂しかりけり　沢栗牛頭花

巻フォートクラブ会員募集

巻フォートクラブは写真愛好者のグループで、月一回自作の写真を持ち合って、お互いの作品を批評し合っております。現在会員は八名ですが、会発展のためこのたび同好者を募集しておりますので希望者は九区本間勝夫（TEL二一二〇三七）宅へ連絡してください。

広報まき次号の発行日は1月15日の予定です。